

持続可能な健やかな美肌のための科学的アプローチ

●肌トラブルの原因とスキンケアの役割

皮膚は本来、自己修復能力とバリア機能を持っていますが、これが何らかの要因で衰えると肌トラブルが発生します。ターンオーバーの乱れによるバリア機能のある皮膚バリアが形成できないことが主な原因であり、ターンオーバーが正常に機能するまで、皮膚バリアを修復・強化して、バリア機能を維持することは、肌トラブル軽減・解消や再発防止には非常に重要です。

●ターンオーバーとバリア機能

- **ターンオーバー**:これは皮膚の再生プロセス(バリア機能のある皮膚バリア形成プロセス)で、通常は 20 代前半で約 28 日で完了します。年齢、ストレス、環境要因によってこの周期が長くなると、古い角質が残り、肌トラブルが発生しやすくなります。
- **バリア機能**:皮膚の最外層(角質細胞間脂質のラメラ構造)は、外部からの有害物質や水分の蒸発を防ぎ、皮膚バリアを形成しています。リノールと呼ばれる必須脂肪酸は、皮膚が作り出すセラミドとエステル結合してアシルセラミドを形成し、このアシルセラミドがバリア機能を強化します。リノール酸以外の脂肪酸、たとえ不飽和脂肪酸であっても、セラミドと結合してアシルセラミドを形成することはありません。したがって、リノール酸はバリア機能にとって不可欠な成分です。

●従来のスキンケアのアプローチ

従来のスキンケアが一時的な対処療法で、以下のようなアプローチを取ります:

1. **ターンオーバーの正常化**:適切な洗顔と角質ケアにより、古い角質を取り除き、ターンオーバーを促進します。
2. **保湿の強化**:保湿剤を含む製品を使用し、皮膚のバリア機能を修復・維持より、肌の保湿に焦点を当てます。

●海の森化粧品が提案するスキンケア『お手入れ方法』

海の森化粧品が提唱する、リノール酸含有で合成界面活性剤不使用のエマルジョン化粧品を使用するお手入れ方法は、ターンオーバーが正常に機能するまで、皮膚バリアを修復・強化して、バリア機能を維持する方法です。ターンオーバーの正常化によるバリア機能のある皮膚バリアの強化に焦点を当てた合理的かつ科学的なアプローチです。

この『お手入れ方法』は、皮膚科学的に見ても適切で、長期的に見ても健やかな美肌を維持するための効果的な手段と言えます。従来の対処療法的スキンケアでは対応しきれない問題に対して、根本からアプローチすることで、再発防止にもつながることが期待できます。